

kkj お勧めガイドシリーズの最新版 脱炭素社会を目指す住まいづくりのための お勧め建材ガイド・設備ガイド（2地域編）をセットで公開

- 本年4月に施行された住宅の省エネ基準への適合義務化、近い将来のZEHの標準化を見据え、省エネ基準、ZEH 基準、さらにワンランク上の省エネ性能を実現する仕様と具体的な環境共生住宅推奨部品の組合せを提案
- 『建材ガイド』では、3段階の断熱等性能を満たす断熱材・開口部材等の組合せ、『設備ガイド』では、温暖地版で取り上げた一般的な設備に、寒冷地に特徴的な設備を加えた設備機器の組合せと一次エネルギー消費量の目安を紹介

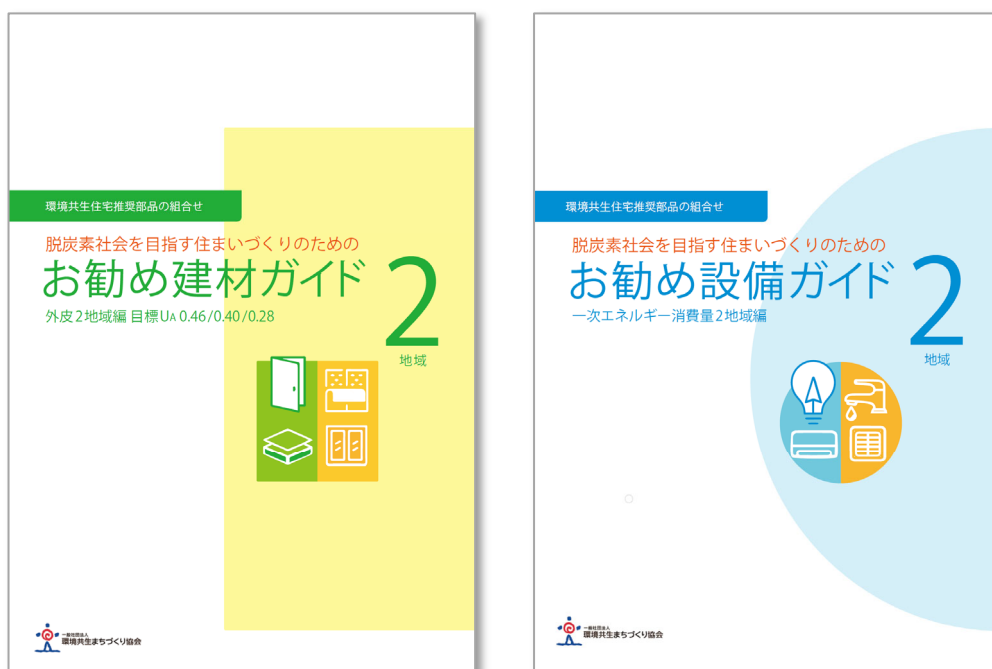
一般社団法人 環境共生住宅まちづくり協会（会長：竹中宣雄、以下「kkj」）は、我が国が目指す「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、住宅の省エネ基準への適合、ZEHの標準化、より省エネ性能の高い住宅の普及に貢献すべく、『脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め建材ガイド 2地域編』（以下、建材ガイド）の最新版と、新たに『脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め設備ガイド 2地域編』（以下、設備ガイド）を公開します。

kkjは、環境共生住宅を構成する建材や設備の環境性能について独自の推奨基準を定め、これに適合する建材や設備を「環境共生住宅推奨部品」として推奨しています。さらに住宅のH28省エネ基準やZEH要件等を満たす環境共生住宅推奨部品の組合せをご紹介します。「kkjお勧めガイドシリーズ」を発行して環境共生住宅の普及推進を進めています。

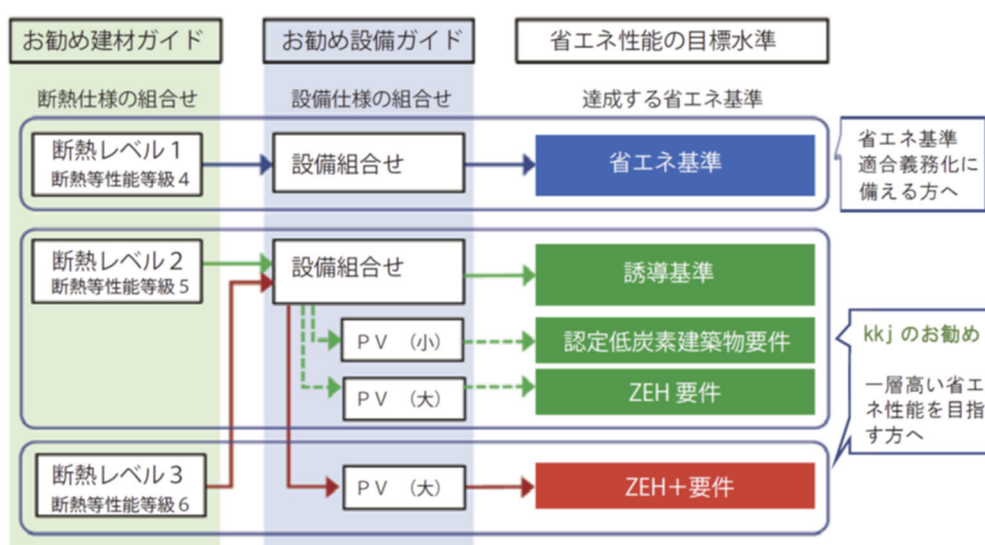
この度kkjは、新設された品確法上位等級に対応し、また建材や設備機器の情報を更新した「建材ガイド」「設備ガイド」の2地域編の最新版をセットで公開します。「建材ガイド」では、品確法断熱等性能等級4（H28省エネ基準）、等級5（誘導基準・ZEH要件）、等級6（GX志向型住宅の要件）の3つのレベルを満たす断熱材や開口部材等の環境共生住宅推奨部品の組合せを、充填断熱工法と外張断熱工法、付加断熱工法を対象に提案しています。「設備ガイド」では、2地域に特徴的な石油熱源機やパネルラジエーターなども取り上げ、ZEH要件の水準を満たすエネルギー消費性能を達成する設備機器の環境共生住宅推奨部品の組合せに、「建材ガイド」で提案する3つのレベルの外皮性能を対応させた一次エネルギー消費量の算定結果を掲載しています。

それぞれのレベルに応じた具体的な環境共生住宅推奨部品の組合せについて、部品の種類と仕様まで具体的に掲載していますので、両ガイドをご覧ください。省エネ基準やZEH要件のほか、各種支援制度に定められた省エネ性能の基準を満たす外皮の仕様や設備機器の組合せの参考として、実際の設計業務にお役立ていただけます。

kkjでは皆様の省エネルギー性能の高い住宅設計の一助となるよう、今後も「お勧め建材ガイド」「お勧め設備ガイド」を充実してまいります。



2地域編の「お勧め建材ガイド」と「お勧め設備ガイド」

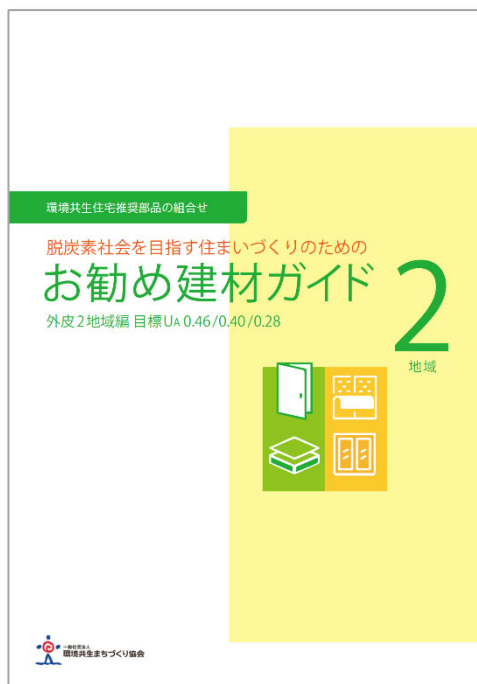


※認定低炭素建築物要件には、外皮性能、一次エネルギー消費量性能、創エネ導入量のほかにも要件があります。

両ガイドで提案する水準の組合せと各種省エネ性能基準の関係

脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め建材ガイドの主な内容

1. はじめに
2. 外皮性能の基準
 - 1) 断熱性能
 - 2) 日射遮蔽性能
3. 建材選択のポイント
 - 1) 断熱材を選ぶ
 - 2) 窓を選ぶ
 - 3) 玄関ドアを選ぶ
4. お勧めする建材の組合せ
 - 1) ご紹介する3つの外皮性能レベル
 - 2) 記載事項
 - 3) 外皮性能レベルに応じた組合せ例一覧
 - 充填断熱工法：レベル1 (U_A 値 0.46 以下)
 - 付加断熱工法：レベル2 (U_A 値 0.40 以下)
 - 外張断熱工法：レベル1 (U_A 値 0.46 以下)
 - 外張断熱工法：レベル2 (U_A 値 0.40 以下)
 - 付加断熱工法：レベル3 (U_A 値 0.28 以下)
 - 4) 環境共生住宅推奨部品の



5. 省エネルギー基準
6. ZEHとLCCM住宅
7. 算定条件

○ kkj の出版物のご紹介

レベル3 断熱強化型 等級6・ZEH+要件 付加断熱工法 対象地域:2地域

性能

外皮平均熱貫流率 $U_A = 0.28$ [W/(m²・K)]

全館の平均 日射取得率 $\eta_{AC} = 1.4$

建物の平均 日射取得率 $\eta_{AH} = 1.7$

仕様

天井 断熱材: 吹き抜けグラスウールEFGW13-32 t=500
下地材: 石膏ボード t=9.5
○天井の断熱材の熱貫流率 9.6 [W/(m²・K)]

外壁 断熱材: 内張 高気密グラスウールGWHG36-32 t=100
外張 射法法ポリスチレンフォームXPS3D t=50
気密性: 高気密グラスウールGWHG36-32 t=100
外張 フォームフォーム(複2層C) t=45
下地材: 骨組 t=9
○壁の断熱材の熱貫流率 3.6 [W/(m²・K)]

玄関ドア 枠: 高気密断熱樹脂製または樹脂と金属の複合材料製
戸: 高気密断熱樹脂製
○玄関ドアの熱貫流率 1.30 [W/(m²・K)]

窓 断熱複層ガラスLow E(三層ガラス(A10mm以上又はK10mm以上))
*気密性能は等級6を要する。
○窓の熱貫流率 1.30 [W/(m²・K)]
○窓の日射取得率 0.39

床 断熱材: 標準 射法法ポリスチレンフォームXPS3BA t=45
大引 射法法ポリスチレンフォームXPS3BA t=100
気密性: フォームフォーム(複2層C) t=45
気密性: フォームフォーム(複2層B) t=45
土間上: 水不溶性射法法ポリスチレンフォームXPS3BD t=50
*気密性能は等級6を要する。
○床の断熱材の熱貫流率 1.0 [W/(m²・K)]

仕上材: 骨組 t=120以上
水不溶性射法法 t=12または断熱層 t=35
○床の断熱材の日射取得率 1.0 [W/(m²・K)]

注: 断熱材の厚さを増やすと断熱性能は向上するが、躯体の重量も増える。躯体の重量が増えると基礎の設計も変更が必要となる。また、断熱材の厚さを増やすと躯体の重量も増える。躯体の重量が増えると基礎の設計も変更が必要となる。また、断熱材の厚さを増やすと躯体の重量も増える。躯体の重量が増えると基礎の設計も変更が必要となる。

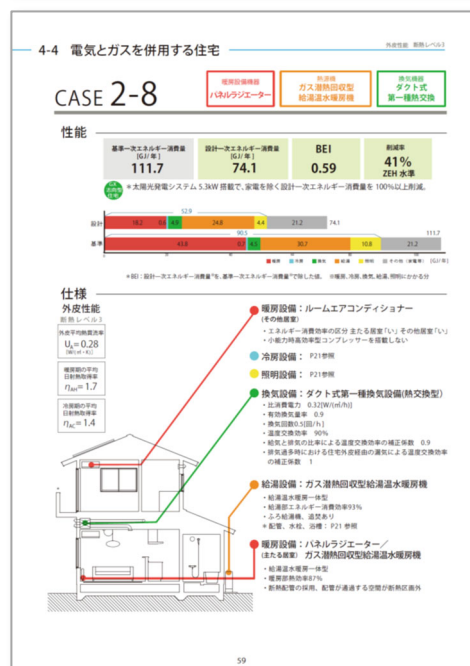
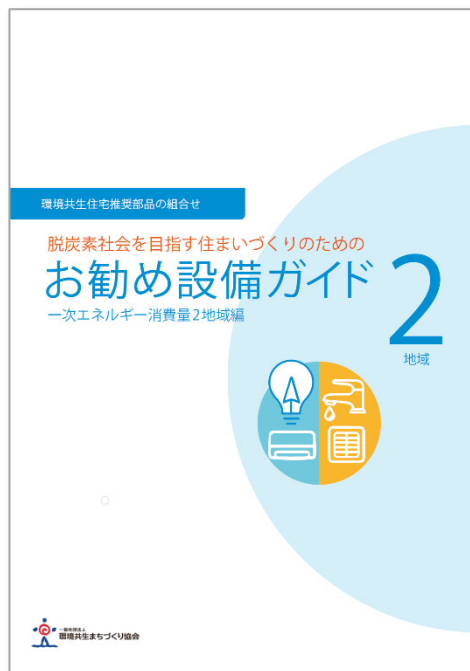
種別	厚さ (mm)	性能
天井	500	
外壁	105	
窓	50	
窓	50	
床	45+100	
床	45+90	
床	12	
床	55	
日射取得率		0.39 ^①
日射取得率		0.39 ^②
日射取得率		0.39 ^③
日射取得率		0.39 ^④
日射取得率		0.39 ^⑤

【この件に関するお問い合わせ先】
 一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)
 事務局：長谷川
 Tel：03-6265-3242
 Fax：03-6265-3243
 E-mail：jimukyoku@kkj.or.jp

【お勧め建材ガイド ご購入方法】
 お勧め建材ガイドはkkjホームページにて、ご購入いただけます。
https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/

『脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め設備ガイド』の主な内容

1. はじめに
 2. 住宅のエネルギー消費性能
 - 2-1 一次エネルギー消費量による評価
 - 2-2 一次エネルギー消費量の計算方法
 3. 設備機器選択のポイント
 - 3-1 暖冷房設備
 - 3-2 換気設備
 - 3-3 給湯設備
 - 3-4 照明設備
 - 3-5 コージェネレーション設備
 - 3-6 太陽光発電設備
 - 3-7 太陽熱利用給湯設備
 4. お勧めする設備機器の組合せ
 - 4-1 算定条件と掲載する設備機器
 - 4-2 記載事項
 - 4-3 全 Case に共通する設備
 - 4-4 電気とガスを併用する住宅
 - ① 外皮性能レベル1・レベル2の場合 (Case1-1~1-11)
 - ② 外皮性能レベル3の場合 (Case2-1~2-11)
 - 4-5 オール電化住宅
 - ① 外皮性能レベル1・レベル2の場合 (Case3-1~3-3)
 - ② 外皮性能レベル3の場合 (Case4-1~4-3)
 - 4-6 環境共生住宅推奨部品
 5. ZEH と LCCM 住宅
 6. 参考情報
 - 6-1 地域の区分
 - 6-2 年間の日射地域区分
 - 6-3 算定に用いた建物のプラン
- kkj の出版物のご紹介



【この件に関するお問い合わせ先】
 一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)
 事務局：長谷川
 Tel：03-6265-3242
 Fax：03-6265-3243
 E-mail：jimukyoku@kkj.or.jp

【お勧め設備ガイド ご購入方法】
 お勧め設備ガイドはkkjホームページにて、ご購入いただけます。
https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/